

ハーモニー

男女共同参画推進モデル地区 内浦地区

沼津市では、内浦地区コミュニティを「男女共同参画推進モデル地区」として地域の行事に男女共同参画の視点を取り込み、地区のみなさんと平成 25~26 年度の 2 年間に渡り活動を行ってきました。

今回、内浦地区での事業を終了するにあたり、事業報告として「男女共同参画情報誌ハーモニー特別号」を共に研究・実践してきた内浦地区のみなさまと作成しましたので、お届けします。

平成 25 年度、26 年度において、内浦地区では「男女共同参画推進モデル地区」として、地域住民・自治会と静岡県立大学、そして市と協働で、本地区での男女共同参画の推進に取り組んできました。

静岡県立大学教授 犬塚協太先生に、地域活動の男女共同参画の視点からの調査を進めていただき、モデル地区の“先輩”である第五地区、愛鷹地区との勉強会の場を設けさせていただき、本地区でも地域活動への男女共同参画の視点からの見直しについて、積極的に検討してきました。

内浦地区には、内浦漁港祭の『勇み踊り』のような祭事において、性別役割を逆転化させる伝統、そして地区センターの開設によるコミュニティ活動の拡充など、男女共同参画の推進の原動力となる潜在性を多く持っていますので、これらを活かし、地域における男女共同参画社会の実現に努めていきたいと思えます。

犬塚先生には幾度となく地域に出向いていただき、熱心できめ細やかなご指導をいただきました。この場を借りて御礼申し上げるとともに、これまで以上に沼津市の男女共同参画が推進されますことを願います。

内浦地区コミュニティ推進委員会
会長 丹羽 定彦

連合自治会役員として、モデル地区事業に関わってきました。

男女共同参画の理解にはじまり、丹羽会長主導のもと、男女共同参画の理念を地域行事に活かさないか検討を重ねてきました。

犬塚先生の人柄も手伝いまして、2年経て、多様な世代が地域行事に参加するなど、徐々にではありますが住民に変化が見られました。

今後は、モデル地区事業での実績を活かし取り組みを続け、内浦でのさらなる男女共同参画の浸透が進むことを期待します。

内浦地区コミュニティ推進委員会
常任委員長 土屋 直士



～内浦地区における男女共同参画の取り組み～

地域社会においては、自治会組織の役員が男性中心であったり、性別により固定的に役割を分担する意識がまだまだ根強い傾向にあることから、男女共同参画の取り組みはなかなか進まない現状の中で、本事業を通じて、内浦地区コミュニティが実施する様々な行事において、男女共同参画の観点から見た内浦地区の特徴や、男女共同参画の視点が活かされている事例などについて報告します。

内浦漁港祭

毎年4月4日、「勇み踊り」で有名な内浦地区漁港祭が開催されます。

「天下の奇祭」とも呼ばれる祭事で、大瀬神社に参拝した踊り船が港内に集合し、女装した男性が飾りつけをした船の上で、お囃子に合わせて「勇み踊り」を踊ります。



内浦方面隊訓練

6月、内浦小学校体育館にて、自治会役員、婦人会役員、消防団関係者、学校関係者等が参列する中行われます。

訓練礼式の演習披露のあと、応急手当訓練の実技指導、関係者表彰等を行い、これにより地域防犯の意識啓発を促すものです。



訓練では、式全体の司会を、沼津市の女性消防団員で結成された「紫明隊」の方が務めました。

内浦方面隊のメンバーは男性のみですが、実技演習は、この女性消防団員の指導と説明のもと行われ、男性中心の活動が主になりがちな消防団において、女性も何らかの形で積極的に参加するように取り組んでいます。

親子ふれあい 餅つき大会

11月、内浦漁協荷捌所にて、地域住民が子どもから大人まで大勢集まって餅つきをし、出来立てのお餅を楽しみます。

杵と臼での餅つき体験などを通じて、親子のふれあい、住民同士の交流を深めます。



男女共同参画
ポイント



餅つき大会の準備を行う役員は、女性の割合が多いものの、お餅を丸める作業や、配布するお餅のパック詰め、大根おろしを作る作業など、女性だけでなく、男性も一緒に行います。

また、餅つきに参加する子ども達に対し、性別に関わりなく、男の子も女の子も楽しめるよう主催者側の自然な配慮が見られます。

※写真は平成25年度（三津公会堂）の様子

三世代交流 輪投げ大会

3月、地区センターにて、自治会、婦人会のほか、老人会、PTA等も関わって実施されます。

小学生全員に参加の呼びかけがされ、子どもだけでも50人以上、親世代が30~40人、高齢者世代も40人以上が参加する人気の行事です。



男女共同参画
ポイント

「輪投げ」は子どもから高齢者まで、年齢・性別・身体能力に関係なく老若男女誰でも参加し楽しめるスポーツです。また、成績順位による表彰も、性別による部門分けはまったくありません。

20年以上に渡って広く支持されてきた輪投げ大会は、意識しなくても男女共同参画の理念に即した行事です。



内浦地区センターの供用開始について



内浦地区の住民自治のまちづくりを進めるための活動拠点として、内浦市民窓口事務所などと併設で建設され、平成27年2月に供用開始されました。

室内設備として、会議室や図書コーナーのほか、調理実習室が設けられ、男女共同参画の視点が取り入れられた様々な地域行事の舞台となることが期待されます。



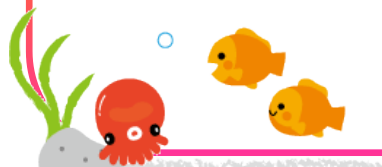
また、地区センターの供用に合わせ、平成26年度にはコミュニティ組織の拡充がなされ、社会福祉や防災、地域安全などの7の専門部を有する「内浦地区コミュニティ推進委員会」が設立され、自主的・主体的な活動を企画・運営するなど、全世代を通じたまちづくりの取り組みが幅広く行われています。



モデル地区事業の2年間で振り返って

内浦地区での2年間のモデル地区事業を通して、この地域には豊かな自然と共に、男女共同参画を進めていくためのさまざまな可能性が存在していることを実感しました。内浦地区のような市街地から離れた漁村地域では、確かに少子高齢化は目立っており、若い人たちの流出も進んでいます。しかし、この地区には、そんな不利な条件をはね返して、子どもたちからお年寄りまで、長年にわたってあらゆる世代が参加し協力し合って実施する楽しい取組の経験がとて豊富でした。こうした経験を通じて、いつの間にかあらゆる世代の男女が、性別を超えて助け合い支え合って地域を動かしていく知恵がしっかり蓄積されていたのです。モデル地区事業では、その土台の上に「もう一歩進める」ための男女共同参画のヒントを多くの皆さんに知って頂くことができました。この事業をきっかけにして、さらに今後さまざまな取組がこの地域で実践されていくことを強く願っています。

静岡県立大学 国際関係学部
教授 犬塚 協太



編集：内浦地区コミュニティ・沼津市
発行：沼津市 企画部 市民協働課 協働推進係
〒410-8601 沼津市御幸町 16-1
TEL：055-934-4807
FAX：055-931-2606
E-mail：kyodo@city.numazu.lg.jp
(平成27年12月発行)